

研修で
学校が
変わる

中堅教諭等資質向上研修④

特別支援教育ステップアップ研修③

特別支援教育支援員研修②（選択C）

まとめ

学校司書研修（選択C）



令和2年9月4日（金） Web会議による遠隔講義

講師 田中 善大 氏（大阪樟蔭女子大学 准教授）

「学校全体で取り組むポジティブ行動支援」

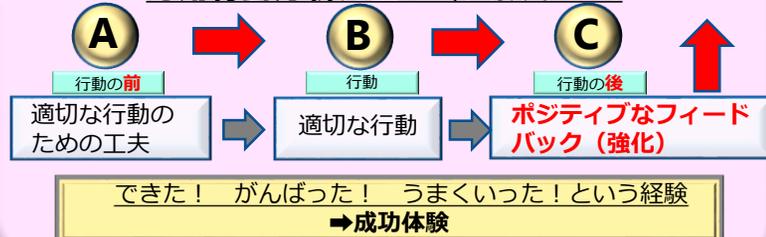
【研修のねらい】

- 子どもたちの望ましい行動を増やす授業づくりや学級経営の実践力向上を図る。

学校全体で取り組むポジティブ行動支援の目標

- 児童・生徒が**主体的・自発的に取り組む**
×先生に言われるからやる・やらされている
- 児童・生徒に**責任を持たせる・移行する**
✓**子どもが主体**の学校づくり

応用行動分析に基づく支援のABC



【中 堅 教 諭】

私はこの学びをこう活かす！

- 学級経営の中で、子どもたちへの声かけを工夫していきたい。プチ成功体験を積み重ねていくことが、必要であると感じた。学校全体で取り組めるように声をかけていきたい。
- 普段何気なくやっていたポジティブなフィードバックであったが、より子どもたちが主体的に自発的に取り組めるようにするには、めざす姿を具体的にしておくこと、それを学校全体で共有することが大切だと分かった。まず自分の学級の児童からポジティブ行動マトリックスを作成してみたい。
- 夏休みの校内研修で話し合いをした際、これだけは共通理解して実践していこうことが決まり、現在進行形で実践している。今回のポジティブ行動支援とまではいかないが、次回職員で振り返りを行う際に、今回研修した行動基準を今より具体的に立てていけるように話を進めていきたい。
- 学級でポジティブなフィードバックをしていきたい。また、他学年児童に対しても休憩後の様子等を見ながら取り組めることがあるのではないかと考えた。前回の研修の児童理解や関わりと合わせて取り組んでいこうと思う。

【特別支援教育支援員】

私はこの学びをこう活かす！

- 良い行動をした時にどんな支援をすると良くなったのかという情報を蓄積し、児童それぞれに対してどのような支援が効果的なのかを明確にする。そして、それを他の職員や保護者と共有する。
- 支援が必要な子どもに対し注意して気づかせるのではなく、○の行動をしている子どもにポジティブなフィードバックをして、支援が必要な子どもに気づかせるという事を実践していきたいと思った。
- ポジティブ行動支援は普段心がけている支援だ。特に特性の強い子どもたちに一番効果的だと思う。困った行動の方に目が行きがちだが、具体的な声かけや支援で望ましい行動に変わる瞬間は喜ぶ。この支援について職員研修会等で講演会の報告も含めて研修し、学校全体に広めていきたい。
- 支援員として、子どもの様子を見守り、気になる様子は担任や養護教諭などに相談する。その際、関わる大人で情報共有をはかるとともに、子どもに対する対応や声掛けの統一に心がける。学校全体でポジティブ行動支援のもたらす効果について理解を深める。
- 生徒理解の際、生徒の行動認知について肯定的な分析をすることに生かしていけると感じた。

【特別支援学級担任】

私はこの学びをこう活かす！

- 授業中、望ましい行動をした時にすかさず褒める。ハンドサインなど言葉以外も工夫したい。具体的な望ましい姿をイメージしておき、児童がそこに向かえるような具体的にポジティブな指示を出す。
- 特別支援学級の担任として、児童支援に活かしていきたいと思う。自分の関わり方を振り返ってみると、○の行動より×の行動に目を向けてしまい、注意など、ネガティブな支援を行いがちになってしまうことがよくある。児童の行動に対して、その行動だけではなく前後の背景を考えて環境をつくったり、○の行動に目を向けて一緒に頑張っていけるような方法を考えていきたい。児童への言葉かけも、具体的な行動例で教えるとよいことを学んだ。
- 困った行動をとる児童生徒に対し、できている適切な行動を認め、そのできている行動から仕掛けをつくり、強化する場面を増やしていきたい。また、ポジティブなフィードバックを言葉と視覚的に分かるシールや賞状などを活用して達成感を味わう場面を増やしていきたい。

【学 校 司 書】

私はこの学びをこう活かす！

- 児童に否定的な表現ではなく肯定的な声かけや励ましをしていきたいと思った。
- 図書館の役割として、心の居場所が重要になっている。子どもの言動から気持ちを汲み取り、ポジティブな行動支援をすることで関係づくりに努めたい。そして担任の先生方と連携して広い視点や視野で子ども一人一人をみて、こころよい居場所づくりに心がけていきたい。
- 困った行動を指摘するのではなく、適切な行動を増やしていく支援に努めたい。一人一人の子どもにとって、いいこと、嬉しいこと、楽しいことが何なのかということを感じることを通して、居心地のよい図書館の環境づくりを進めていきたい。

学校全体で取り組むポジティブ行動支援は・・・

先生方の「こんな子どもに育てほしい」
子どもたちの「こんな自分になりたい」

その想いを形にする実践